

東大阪市第3次健康増進計画(健康トライ21)素案 パブリックコメントで寄せられた意見

No.	ページ	意見	市の考え
1	20	「3. SDG sとの関連性」に、「3. すべての人に健康と福祉を」が挙げられていますが、目標 3.a「すべての国々において、たばこ規制枠組条約の実施を適宜強化する。」も追記して、喫煙対策は SDG3 の中でもとりわけ重要であることが分かるようにして下さい。	たばこの規制について、たばこ対策を考える上で大変重要だと認識しております。 今回の第3次健康増進計画において、禁煙や受動喫煙防止を中心に本文中に記載しております。 たばこ規制については今回の計画に記載はしていませんが、今後の施策検討において重要視してまいります。
2	59	・「① 喫煙率の減少」について、加熱式タバコへの警鐘を鳴らしている点は非常によいと思いますが、「水タバコ」の危険性についても明記して下さい。これもやはり若年層で流行しつつあります。 ・脱字一ヶ所:「体に有害でる」は、「でる」->「である」。	・水たばこについて、喫煙者数等の詳細なデータが現在なく、実態がつかめておりません。体に有害であることは確かなので啓発はしていきますが、今回の計画には水たばこをとりだして記載は致しませんでした。 ・脱字部分、修正いたしました。
3	62	「世界禁煙デーに合わせての禁煙啓発」について、 ・内容に「市役所コンビニでのタバコ販売停止」を追加して下さい。敷地内禁煙の市役所でのタバコ販売はそもそも許されることではないですが、せめて禁煙デーや禁煙週間の間は販売を停止して下さい。例えば、敷地内全面禁煙の滋賀県庁では禁煙週間の間、県庁生協でのタバコ販売を停止しています。 ・あと、「市役所総合庁舎敷地内の受動喫煙の機会ゼロをめざす。」とありますが、そもそも敷地内全面禁煙なのですから、常にゼロでなければおかしいのでは？ ・職員には、春宮公園で喫煙しないように、しっかり教育して下さい。	・ご意見は施策検討の参考にさせていただきます。 ・記載を修正いたしました。 ・引き続き関係部局とともに注意喚起してまいります。
4	109	「乳児突然死症候群」について、「乳児」->「乳幼児」では？	・該当部分を修正いたしました。
5	28 59 61	「市の健康寿命は延び、不健康な期間は短縮しているが全国や府と比べ健康寿命が短く、不健康期間が長い」という課題がありますこれら課題に対し予防的に全網羅的に取組や目標値が設けられているが因果関係が不明瞭と思われます。 (例) 59P受動喫煙による特定疾患との因果関係 61P加熱式たばこの記述の正確性	・健康寿命について健康指標としてとりあげています。取り組みの因果関係を求めるものではありませんのでご理解をお願いいたします。 ・P59『がん』を『肺がん』へ修正いたしました。 ・P61『新型たばこといわれる加熱式たばこの主流煙には紙巻たばこ同程度のニコチンを含む製品もあり、現時点で測定できていない化学物質もあるため、加熱式たばこも有害であるとの認識を広げていく必要があります。』の文面について、下線部分を追加して記載いたしました。
6	60	喫煙率の算定根拠に疑問 ※東大阪市でやめたいものが26.1％存在しているかどうかは根拠が無い。 感覚ですが、全国よりも喫煙率は高いと考えているので、国と同程度の目標では現実的に厳しいと思います。	・喫煙をやめたいと思うものの割合26.1％は国の令和元（2019）年の国民健康・栄養調査のデータです。市の目標値を設定するにあたり、国の目標値の算出方法を参考に、国と同様の目標値としました。目標値の達成が難しいようでしたら、中間評価で見直しを検討してまいります。
7	56-62 87-90 109-111	「タバコ病による早死にを無くするための取り組み」をよりいっそう進めていただきたい。 「受動喫煙の危害ゼロの施策」をよりいっそう進めていただきたい。 (α) 受動喫煙の危害を無くし、喫煙率の低減と健康寿命をのばすための施策として、例えば、治療施設の医療者向けに、認知行動療法などのスキルアップの研修会を行うとか (2) 保健所や保健センターなどでも禁煙相談・サポートをすとか（既に行っている所もありますが） (3) 妊婦の禁煙支援のためのアプリ開発が進められているので、協力依頼するとか (4) 日本禁煙学会の禁煙 CM 動画コンテストの作品を行政や医療機関の待合などでテレビ可能な場所で放映して啓発に活用するとか (5) 既になされているかとは思いますが、健康づくりに関係する行政や医療機関、組織、人材などに限なく禁煙と受動喫煙の研修・要請の上、対象市民に折に触れ、禁煙の勧め、受動喫煙防止の重要性の働きかけ（一声）が効果を発していくように思います。 ・例えば、医療機関での人間ドック・健診・外来受診・入院・検査などの機会を逃さず、本人や家族の禁煙、家族の受動喫煙を無くす、妊婦 - 胎児を守るなど一声をかけることによって徐々に浸透が期待できるように思います。 ・医師会や歯科医師会（歯周病などでの禁煙指導歯科の推進を含め）、薬剤師会（禁煙支援薬局の推進を含め）、健保連、国保や後期高齢保険などを通して保健医療施設全てが一声を掛けるよう連携を進めてはどうでしょうか。 ・区や町内会や、様々の組織を通して、タバコ対策の啓発を含めきめ細かい健康づくりのネットワークが可能かと思います。 ・飲食店業界や生活衛生同業組合は貴課とも連携があるように思うので、タバコ対策には抵抗があるかもしれませんが、健康づくりを錦の御旗に進めていただくことを期待しています。	ご意見ありがとうございました。 ご意見は施策検討の参考にさせていただきます。
8		手軽なジャンクフードが利用しやすい為、少しでも回数を減らす工夫や、適度な運動。 今回の被災者の方々を拝見しましても、食事のみならず、精神面も大きく関わっている様に思います。 1日の生活のリズムを作る事や、社会との関わりも大切かと思います。	ご意見ありがとうございました。